

## 地域のお宝発表会2025 事例内容



【和歌山県日高川町】  
居酒屋・喫茶 いきがい仕事

「喫茶のぶちゃん」は、カウンターだけの小さな喫茶店。早朝からお昼までの営業時間は、近隣や隣町から来る常連さんで毎日にぎわいます。コーヒーを飲みながら、店主の「のぶちゃん」やお客さん同士のおしゃべりに花が咲きます。ここには日常からお互いを気にかけて合う姿があり、介護や支援が必要になっても、ご家族や友人の協力を得ながら「のぶちゃん」に通い続ける人もいます。



【滋賀県東近江市愛東地区】  
集落のつながり おすそ分け 見守り

お茶飲みやおすそ分け、ごみ出しついでの井戸端会議で上手に孤立を防ぎ、安心して暮らすおばあちゃんたち。そのおばあちゃんたちの畑の土起こしや、家の周りの草刈り、雪かきなどを手伝う近所のおじさんたち。困りごとを抱えた人がいればすぐ気づき、誰かが声を掛け、手を差し伸べます。そうした見守りや支え合いの生活文化は丸ごと「地域のお宝」。つながりを育む伝統行事や、つながりを生かす北坂町福祉委員会の活動も紹介します。



【北海道美唄市茶志内地区】  
地域の集い場 趣味活動 伝統芸能

過疎化や高齢化で老人クラブが解散となり、つながりの希薄化を感じていた茶志内地区。しかし、生活支援コーディネーターと地区住民があらためて地域を見渡すと、閉校した小学校体育館でプロ野球チームが練習していたり、通い住職となったお寺を活用できそうだったり、産直所が集いの場になっていたり、地域のお宝が多いことがわかりました。そこで、地区住民からの声で心身の健康増進と地域の盛り上げを願って趣味活動や地域伝統芸能の復活を目指し、「よりみち」という会が立ち上がりました。